



帯広西ロータリークラブ

第2257回例会

2019.1.17

会報



■RI第2500地区テーマ■

行動するロータリー、つながるロータリー
～ロータリーの未来を考えよう～



■クラブ・テーマ■

常識を疑い、可能性に挑戦する

会長報告

佐藤 聡 会長

皆さま こんにちは。1月14日に十勝管内で成人式が開催され、帯広市では1620名が新成人の仲間入りをしました。そんなニュースを見ながら「この若者たちの中で一体何人の人たちが十勝帯広に留まり此処で生計を立ててくれるのだろうか」と一抹の不安を抱きました。全国の若者たちが地方都市から都会へと流出し、少子高齢化が加速している現状を考えると大なる危機感にさいなまれてしまいます。帯広市の人口 平成10年174,800人から平成30年166,800人と20年で8,000名の人口減となっています。この状況を僅かな減少と表現するかどうかは別として、十勝全体で考えると人口減少が加速し、地方のロータリークラブが会員減少で存続の危機にあることは紛れもない事実です。



国際ロータリーにおいて1月は職業を通して地域社会に奉仕をする職業奉仕月間となっていますが、私たちの企業活動はどんな職種であろうとも人口減少が続けば成り立ちません。日常の経済活動があつてこそそのロータリークラブであるならば、若者たちが目を輝かせながらこの十勝で働くための持続可能な循環型経済の環境づくりに携わっていくこともロータリーの課題のように思います。

ロータリークラブ創立当初は会員相互の親睦を目的とし、その後社会奉仕へと大きく舵を切ったときに、北海道・第2500地区・第6分区においては人口減少対策にも目を向ける必要があると考えます。巷では「今だけ・金だけ・自分だけ」というような言葉が飛び交っていますが、そんな時代に警鐘を鳴らすのもロータリーの役割ではないかと思っています。

本日は若干固めの会長挨拶となってしまいましたが、今年度の例会運営で新たな試みに挑戦して頂いている各委員会にエールを込めて「経験と成長」という言葉を紹介させていただきます。

「たとえ 困難な仕事であっても
真剣に向き合えば 無駄な経験など
何一つない
不可能に思えることに
挑戦するからこそ
人は成長できる」
以上、会長挨拶とさせていただきます。



会務報告

小谷典之 幹事

- ①帯広北RC、移動例会開催のご案内
日 時 1月18日(金) 午前11時30分
場 所 稲田浄水場
- ②帯広東RC、夜間例会開催のご案内
日 時 1月29日(火) 午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- ③帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日 時 1月31日(木) 午後6時30分
場 所 北海道ホテル
- ④帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会開催のご案内
日 時 2月13日(水)
午後0時 会 食
午後0時30分～1時30分 例 会
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
講 師 弁護士法人 エルディ 総合法律事務所 所長 東京麴町RC ロータリー情報委員長 藤谷 護人 様
演題:「ポリオプラスと国際奉仕」(仮)
※尚、帯広東RC、2月12日(火)の繰下げ例会と致します。
帯広西RC、2月14日(木)の繰上げ例会と致します。
帯広北RC、2月15日(金)の繰上げ例会と致します。
帯広南RC、2月18日(月)の繰上げ例会と致します。



ロータリー財団表彰

- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- 7回目 奥 敏則 会員
- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- 3回目 佐藤 聡 会員
 - 金尾 剛 会員
- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- 2回目 渡辺 省一 会員
- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- 1回目 萱場 誠一 会員 河西 智子 会員
 - 鎌田 裕樹 会員 小谷 典之 会員
- ポールハリスフェロー
- 河合 敏 会員 立崎 貴之 会員
 - 中川 芳明 会員



会 長 佐藤 聡 副会長 内海 仁司 会場監督理事 田中 耕吾 発行：広報委員会
幹 事 小谷 典之 副会長 渡部 省一 プログラム委員会理事 谷脇 正人 委員長 菊池 俊博 (副)松田 貴史



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

委員会報告

●出席報告

10月平均出席率 84.3%
11月平均出席率 79.7%
12月平均出席率 90.2%

熊切宏樹 出席委員長



●ニコニコ献金

伊藤公康 親睦活動委員長

古田 敦則 会員

新年第一例会お休みでした。今日が初例会です。今年もよろしくお願いします。

太田 豊 会員

本日担当例会です。内容は、新入会員卓話です。皆様ご清聴の程よろしくお願いします。

谷脇 正人 会員

常磐会新年パーティー無事終わりました。かちまいカラーでした。

太田 一也 会員

いやいやですが、新入会員卓話いたします。



齋藤 正彦 会員

2回目の卓話です。皆さん聞き流してください。

宮前 友江 会員

新入会員卓話よろしくお願いします。

高田 浩司 会員

入会させて頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

長平 圭太 会員

本日、新入会員卓話をさせていただきます。よろしくお願いします。

松田 貴史 会員

お陰様で総業55周年になりました。今年からのんびりいこうかと思っています。

北川 勝啓 会員

ニコニコ発表の予定でしたが、急用で早退となりましたので、ニコニコいたします。

ニコニコ	1月17日	20,000 円
献金	累計	346,000 円 (1月17日現在)

◇プログラム

「新会員卓話」

太田 豊 会員増強委員長

皆さんこんにちは。本日プログラムを担当致します会員増強委員会委員長の太田です。副委員長は佐々木和彦会員。委員は川田委員と松見委員です。

皆さんすでにご承知の通り、新会員獲得5名を目標にしてスタートを切ったところですが、佐藤会長の人気と素晴らしい人望で、私が労せず5名の新会員に入会していただいたところです。改めて、太田一也（かずや）会員・齋藤正彦（まさひこ）会員・長平圭太（けいた）会員・宮前友江（ともえ）会員・高田浩司（こうじ）会員今後とも末永く宜しくお願い致します。今日はそのロータリー新入会員の登竜門でもあります新会員卓話のプログラムで進行したくと思いますが、事情があり2度目の新会員卓話の方もいらっしゃいますが、最後までご清聴宜しくお願い致します。

また、各テーブルに過去2か年の入会候補者リストと白紙の入会候補者リストを一部配布しておりますので廻して頂き情報があれば記入いただきたく思います。また、下に※で朱書きで書いてありますが、西クラブに職業分類でない食品加工業や電気工事業・運輸運送業や弁護士。そして今後のクラブの活性化の為に女性候補者や若い30才台の会員も候補にご紹介頂ければと思います。

さて、それではこれより卓話をさせていただきます。トップバッターを切っていただきますのは、渡部副会長ご推薦の太田一也（かずや）会員・順に内海副会長ご推薦のさいとう正彦歯科医院 院長の齋藤正彦（まさひこ）会員・佐藤会長ご推薦の帯広鋼板株式会社代表取締役の長平圭太（けいた）会員・会員増強委員会副委員長の佐々木和彦会員ご推薦の宮前友江（ともえ）会員です。宜しくお願い致します。



太田 一也 会員



皆さんこんにちは。こうやって皆さんの顔を拝見していると、みんな素晴らしい顔をしているなど、今は思っています。特に目の前にいます幹事は特に素晴らしい顔をしているなどと思います。

ほんと卓話やりずらいです。私、確に入ったときに新入会員卓話をやったと思いますが、また2回も卓話をするなんて今までにないと思います。最初に入会させて頂いたのは32年も前のことになります。去年の7月に、8年半で出戻りの再入会となりました。再入会して半年ほどたちますが、感じていることは、今の西ロータリークラブは最初に入会したころと比べると、ずっと活気があるなど感じています。最初に入ったころは、侍みたいなおっかないおじさんばかりで

た。そのおじさん達に一言言われると「クシュン」となり、若い人たちが面白おかしく会話ができない雰囲気でした。今は、若い人たちが伸び伸びと委員会活動などもしていますし、特に夜の例会なんかはうらやましいぐらい楽しくやっています。そんな中に私も誘われて行きますし、楽しいお酒を飲めて今の西ロータリーはすごいなあと思っています。私が入会した頃、「ロータリーを楽しもう」というような題目があったと思うのですが、今は本当にロータリーを楽しんでいるなあという雰囲気でも入会させていただいて楽しんでいます。良い仲間との出会いを私に授けていただいて、有難いなあと思っています。これからも、末永く遊んでください。遊びはなんぼでも付き合いますので。喋りは嫌なので、2度と当てないようにお願いします。ありがとうございました。



齋藤 正彦 会員

皆さんこんにちは。齋藤です。私も2度目の新入会員卓話になります。新入会員で入った時にとんでもない卓話をしてしまい、何人か知っている人はいると思いますが、今回は、ばかげた話ほしないで、皆さんに知ってもらいたいこととして自己紹介をしたいと思います。

私は、生まれも育ちも帯広で、大学へ行くまでは帯広で育っていました。来年還暦になりますが、生まれたころは親父の職業柄街中に住んでいて、元ヨーカ堂の向かいに裁判所があり、近所に下駄屋さんがありその隣に住んでいました。当時は、馬車で石炭を運んでいる時代で、下水も泥川のような状態でよく落ちていました。帯広小学校・第一中学校・三条高校と卒業し、帯広小学校の頃はマンモス校で当時1000人くらいがいて、校舎も古く汚いところでした。小学校の頃は、同じ新入会員として入会した高田浩二君と同級生ですが、街中で遊んでいました。東映の向かいにも住んでいて、夏休みとかになるとラジオ体操があり、今じゃ考えられないような結構な人数が集まっていました。映画館からは、音楽が流れてきて、当時のポールアンカやニールセダカの曲が今も耳に残っています。子供の頃は、遊んでばかりで勉強はあまりしていませんでした。高田君や奥君は知ってい

ると思いますが、幸いにして歯科大に入りました。大学卒業してからは、雪の多いニセコに近い倶知安で修業をし、その後は一度余市で開業をしました。

その後は小樽でまた勤務し、後志支庁が私のスタート地点となりました。親父がなくなってから、帯広に戻り、開業してもう30年近くになります。入会したときは、太田会員も仰ってましたが、ほんとに怖い人たちがばかりで、食事喉を通りませんでした。今、僕よりも若い人が半分ぐらいいると思いますが、僕の顔を見て若い人達はそんな風に思っていないだろうなあとと思っています。飲みに行けば僕のことはよく知っていると思いますが、こういう性格なので、すぐ仲間になれると思うし、付きあい易い方だと思っていますので、僕と飲みに行きたい人は手を挙げて言ってください。最後に、私の座右の銘は中国の昔の格言で「人間万事塞翁が馬」というものです。私にぴったり当てはまっている格言です。中国の紀元前の昔の話で、本当かどうか分からないですけれども、波乱万丈な人生を送るという話です。僕の人生も、本当は平穩に暮らしたいと思っているのですが、皆さんも経験されているように人生は山やり谷ありで格言のとおりです。もういいですね。2回目なのでこの辺で勘弁してください。ということで、これからもよろしくお願ひします。



長平 圭太 会員

皆様こんにちは。朝からずうっと緊張しております、すっかりニコニコをするのを忘れておりましたので、後からニコニコさせていただきます。

昨年の7月から帯広西RCにお世話になる事となりました帯広鋼板の長平でございます。伝統と歴史ある西RCご入会させて頂き誠にありがとうございます。早いもので入会させて頂いてから半年が経過致しました。その間、例会や地区大会、色々な同好会や懇親会に参加をさせて頂き、少しずつではありますがクラブの雰囲気にも慣れ、先輩方のお名前とお顔が一致するようになり、お話をさせて頂く機会も増え入会したの頃と比べると大分落ち着いて活動をする事が出来るようになりました。本日は貴重なお時間を頂き新会員卓話という事で、私の経歴と当社の概要につきましてお話をさせて頂きたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

私は昭和45年12月生まれ、先月で48歳になりました。出身は士幌町中士幌、当会の渡部副会長は同郷の先輩にあたり、幼い頃私の家では食堂を営んでいたためよく副会長のお父さんが食事に見えられ、その時にお小遣いを頂いては近所の駄菓子屋に行きおやつを買って遊んでおりました。地元の中士幌小学校、士幌町中央中学校を卒業、小野辰夫 青少年奉仕委員長は中学の先輩、菊池 俊博 広報委員長は中学の後輩にあたります。その後高校は、帯広南商業高等学校に進学しました。高校では本当に偶然の事で大変驚いておりますが、昨年の8月に西RCの米山学友として卓話されましたダクシカ・ノーニスさんと2年間同じクラスで勉強やお話をして、たくさんの会話の中から少しずつ日本語を覚えていって頂いたのかなと思っております。こないだお話を聞いておわかりのように、彼女の日本語が早口なのは多少なりとも私の影響があったのではないのかなと思

ております。部活は野球部に所属しておりました。『目指せ、甲子園』というよりも何とか北北海道大会に出場したいという思いで練習しておりましたが、思い届かず十勝地区大会の準決勝で敗退してしまいました。今では全く面影がありませんがこれでも当時は背番号1番、ピッチャーをしておりました。平成元年3月に高校を卒業し、卒業後は札幌に本社があります建設資材卸の今井金商株式会社に入社をし、帯広営業所に配属となり勤務致しました。当時はバブル期の全盛で就職も売り手市場であり、高校生でも大手企業や有名企業からの求人が多数あったそんな時代でした。入社後は、十勝管内の鉄工所や金物店を中心に鋼材販売の営業を約15年間しておりました。その後、平成16年に辞令を頂き関連会社となります現在の帯広鋼板株式会社へ出向、その5年後に転籍となり、平成24年代表取締役役に就任、平成26年には先代の社長より株式の大部分を譲渡して頂き事業を承継し現在に至っております。以上が簡単ではありますが私の経歴となります。

続きまして当社の概要についてお話をさせて頂きたいと思ひます。当社は平成13年に設立、芽室町東芽室の工業団地内で主に金属製、俗にいうトタンから住宅や店舗、工場や農業・酪農施設などの屋根材、壁材を製造販売している会社でございます。道内に2カ所、芽室と旭川に製造工場があり道東、道北を中心に広い範囲で商売をさせて頂いております。昨年は稚内や利尻島でホームックニコットの建設現場にて屋根材を現地で製造させて頂いたり、当地区では昨年完成致しました帯広厚生病院の壁材などを製造し納入させて頂きました。近年は住宅分野でのトタン離れや店舗、工場での屋根工法の変化に伴いトタンの需要が減少しております。この厳しい時代に『お客様第一主義』をモットーに32名の社員と共に日々業務に取り組んでおります。大変お恥ずかしいのですが、当社は今まで社是や社訓、経

営理念という会社の指針を掲げたことはありません。事業承継を受け、日々の業務の中で『この会社は何のために存在するのか?』『この会社の目的は何なのか?』と考えるようになり、色々考えましたがまだ私の中でははっきりとした答えが見つかっておりません。その答えを見つけ出せた時に自社に合った、私が思う社是、社訓、経営理念を掲げてみたいと思っております。色々調べますと、『経営理念を理解するには、経営理念があり、実践している人と話し触れあうのが1番だ』と書かれておりました。この西RCには多くの経験を積み、素晴らしい実績を残されておられます諸先輩が大勢おられます。これから少しずつ機会を頂きながら沢山

の先輩にお話しを聞かせて頂き、またご指導頂きながら、私自身の感性を高め、その答えを探してみたいと思っております。どうか先輩の皆様方にはこれから多くのご教示、ご助言をお願い出来ればと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。以上、簡単ではございましたが私の経歴と当社の概要につきましてお話しをさせて頂きました。趣(おもむき)のない話で大変申し訳ございませんでしたが、多少は私の事、会社の事を分かって頂けたのではないかとと思っております。まだまだお話ししたいこともございますが、これから様々な機会の中でお話をさせて頂ければというふうに思っております。



宮前 友江 会員

皆さんこんにちは。本日、卓話デビューさせていただきます宮前と申します。宜しくお願い致します。

卓話のお話をいただき、何をお話させて頂けばよいのか戸惑いましたが、

昨年の7月皆様に入会承認いただき半年が経ちました。申し訳ないお話ですが、例会参加は5回程です。西ロータリークラブの皆様、活動の事、全くと言ってよいほど今だ解っておりません。申し訳ありません。私が皆様の事を、解らないということは、皆様も私を知らないと思っておりますので、今日は自己紹介を兼ねて少しだけ自分の事、ロータリークラブ入会、入会してからの現在をお話しさせて頂ければと思います。先にお話しさせていただきました通り、わからないということを理由に申し訳ありませんが、失礼な言動等ございましたらご容赦下さい。

では、早速自己紹介をさせていただきます。名前は 宮前友江です。1964年5月17日 54歳 血液型はB型です。家族は夫と31歳29歳の二人の娘と22歳の息子が一人の5人です。子どもたちは、一人は結婚、他の二人はそれぞれ東京と横浜で働いております。現在は夫と二人暮らしです。職業は平成6年に日本生命に入社しまして、今年25年目を迎えました。現在は帯広西営業部で営業部長として勤務させていただいております。そして、この営業部長職という役職が私にはとても重く苦悩する日々の要因であります。少々内部の話になりますが、当社では営業部長職は入社時、総合職、営業管理候補生が一般で、女性管理職はほんの少数でしたが、昨今のアベノミクスという経済政策の三本柱の一つである成長戦略のなかで、企業は3割の女性管理職をという中、5年前営業職員から管理職へと役割が変わりました。私は一営業職員としての入社で、しかも教養もなく社会を知らない主婦です。男性の管理職の方々と肩を並べて仕事をしていく上では、あまりにも未熟で役不足です。日々、欠けているものをどう補っていくか、能力不足の言い訳は通用しません。今は無理でも、できるようにならなければいけない

日々、自身でできることを精一杯、そして向上していかなければいけないという中で、結婚前に勤務していた会社と今の日本生命以外で働いたこともなく、家庭と仕事の両立のため時間との闘いで自己を顧みることもなく過ごしてきました。そんな狭くて凝り固まった思考と、行動の枠を超えた考えを学びたく、様々な業種でご活躍されておられる方々から学ばせて頂こうと、子育て最後の息子の就職をきっかけに昨年入会を決意いたしました。何度か、お誘いいただきながら、お断りしました方々にはこの場をおかりしましてお詫言させていただきます。そして、お仲間に入れていただき半年が過ぎた現在、正直に申しますと場違いだったのでは・・・と思います。「身の程知らず」「分不相応」という言葉が頭をよぎります。今からとてもお恥ずかしいお話をさせていただきます。私は入会して会報担当のお役目をいただきました。3度会報作成をさせていただきましたが、最初に懇切丁寧に作成にあたってのマニュアルを頂いたにもかかわらず、理解能力の低さ故、とんでもない原稿を作成してしまいました。どうして理解できないのか正直恥ずかしくて仕方ありません。自己嫌悪です。ですがそんな失敗を、責められることもなく、親切に足りない部分をフォローいただいた方々の、ご協力のもと発行されております。そんなご迷惑ばかりかける会員ではありますが、初の例会参加時に目の中に飛び込んできたクラブ・テーマ、「常識を疑い、可能性に挑戦する!!」。西ロータリークラブのお仲間として学んでいけば、きっと私が望んでいる思考や行動の枠を超えられる学びができると思います。11月15日会報の会長のお言葉「どんなに悔いても過去は変わらない(私の数々の失敗) どんなに心配しても、未来はどうにもならない、過去の失敗に学び今を生きることが唯一未来を変える」を目にしました。これからも多々ご迷惑おかけしますが、会社員という立場上、仕事優先となりますが、極力時間をつくり例会に参加できるよう努力してまいります。今後どうぞ宜しくお願いいたします。私事、最後までお聞きいただきありがとうございました。

高田 浩司 会員 時間が無くなったため、次回機会のある時に延期となりました。

